

2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 130 メルとモノサシ

記入日 2023年(令和5年)4月10日

1. 2030年までに達成したいこと	サステナビリティに寄与する商品を、作り手の思いや生産背景に共感することで積極的に選択する消費者が増えること。かつ、その商品に愛着を持ち長く使い続けるライフスタイルが浸透すること。	3. 関連するゴール	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2. 取組の概要	(1) オンラインショップおよびイベント等における、サステナブルブランドの生産者のストーリー（作り手の思い、生産背景など）を通じた商品の販売 (2) 商品に込めた思いを伝えるイベントの開催 (3) オリジナル商品の企画		10	11	12	13	14	15	16	17	
			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						

4. 主な取組の達成状況								
	サステナブルなものづくり（アップサイクル、障がい者アート、伝統技術の発展など）に取り組む作り手および商品を発掘し、インタビューを元にストーリー記事執筆を行い、それと共に商品を販売。	①目標値		②当初値		③実績値		達成度
		(1)	採用ブランド数合計	30 社	4 社	13 社		
		2024年度		2020年度	2022年度	2023年度		
	サステナビリティを目指す作り手と消費者が対面し、商品に込めた思いを直接的に伝えるイベントを開催することで、サステナブル商品の背景に価値や魅力を感じてもらう。	①目標値		②当初値		③実績値		達成度
		(2)	イベント開催数	4 回	0 回	12 回	回	
		2023年度		2020年度	2022年度	2023年度		
	地域の社会課題を汲んだオリジナル商品を企画し、ワークショップや販売を行い、地域の人が地域の社会貢献に参加する機会をつくる。	①目標値		②当初値		③実績値		達成度
		(3)	合計企画数	10 点	0 点	8 点	点	
		2025年度		2020年度	2022年度	2023年度		

5. 取組結果	2022年度は結果的に毎月のイベント開催及びイベント出店をすることができた。とりわけ12月実施の明石公園でのマルシェでは、明石市のみなさんにエシカル消費を紹介できる機会となった。また、アクセサリーやファッションのみでない分野の商品も取り扱うことができ、老若男女幅広く訴求できるようになってきた。	問合せ先	団体名：メルとモノサシ 担当課：代表 電話：080-9126-1209 メール：kyo.co.1209@gmail.com 担当者：村崎恭子
---------	---	------	--

6. 今後の課題と取組	2023年度からは加古川にて実店舗を開店。明石在住の方もよく来られているので、隣の街から明石市民のエシカル消費の意識を高めていきたい。イベントは明石では2回のみ開催となった。明石でのネットワークがないからか、イベント開催に適した場所に出会いにくかった。今後は明石市内でのネットワークを強め、ゆくゆくは明石での店舗出店を狙いたい。	連携希望	イベント販売をさせていただける拠点をお持ちの団体さま、合同でイベントを開催できそうなエシカルマインドの小売、作り手の方
-------------	--	------	---